

名古屋大学地震火山研究センター 2018年度年次報告会

日時：2019年3月12日（火）13:00-17:00

場所：名古屋大学環境総合館1階レクチャーホール

13:00~14:20 研究成果報告会 第1部（口頭発表） 座長 前田裕太（タイムキーパー：木村洋）

- 13:00 - センター長挨拶 ○渡辺俊樹
- 13:05 - ブイを用いた海底地殻変動観測システムの開発 ○田所敬一
- 13:20 - インドネシアのバンダアチェ郊外におけるGNSS稠密観測網（AGNeSS+） ○伊藤武男
- 13:35 - テクトニックローディングと内陸地震発生 ○橋本千尋
- 13:50 - 活断層周辺の稠密GPS観測で見たこと ○鷺谷威・熊谷光起
- 14:05 - 2018年北海道胆振東部地震震源域および日高衝突帯における電気比抵抗構造（速報）
○市原寛

【休憩 10分】

14:30~15:25 研究成果報告会 第2部（ポスター発表）

- 不均質な海中音速構造を考慮した海底地殻変動解析手法の開発 ○衣笠菜月
- プレート境界面における力学的固着モデルの構築 ○木村洋
- 御嶽山2014年火口壁の崩壊により励起された弾性波による地震波速度構造推定の試み
○國友孝洋
- NTT フレッツ回線を利用した全国データ流通網（JGN）への接続について ○堀川信一郎
- 桜島火山アクロス稠密観測による波動伝搬の推定 ○前田裕太
- バッテリーの劣化評価 ○松廣健二郎
- 長期的 SSE 発生源における非断層すべり成分の検出
○光井能麻（現東濃地震科学研究所）・伊藤武男
- 富士川河口断層帯における地震波構造探査 ○渡辺俊樹

【休憩 5分】

15:30~17:00 一般向け講演会 「地震火山観測研究のいま ～現象の理解から防災まで～」

座長 市原寛（タイムキーパー：辻修平）

- 15:30 - はじめに ○渡辺俊樹
- 15:40 - 地殻の絶対応力場の推定を目指して ○寺川寿子
- 16:00 - 御嶽山山頂地震観測データで見た御嶽山直下の地震活動 ○山中佳子
- 16:20 - 地表地震断層および活断層の地表データにもとづく地震予測研究 ○鈴木康弘
- 16:40 - 南海トラフの新たな防災対策：その地震学的意味 ○山岡耕春